小城警察署協議会開催結果の概要

令和7年3月26日

会 議	令和6年度 第3回 小城警察署協議会
開催日時	令和7年2月19日（水） 15:00～16:30
開催場所	小城警察署 3階会議室
出席者	○ 協議会：宮原会長、永田委員、大家委員 柴田委員、田中委員 (5人) ○ 警察署：川副署長、神崎幹部派出所長、篠原警務課長 清水生活安全課長、藤川地域第一課長、 仁部刑事課長、齊藤交通課長、森警備課長、 江口会計課長、警務係 (10人) 計 15人
議 事 概 要	
1 開会	
2 会長挨拶 本日は大変お忙しい中、令和6年度の第3回小城警察署協議会に御出席いただきましてありがとうございます。 本日の協議会は、「災害対策の効果的推進方策」について諮問を受けたことに対して答申することになっています。 地域と警察が連携してこそ、地域の安全・安心が確保されるものと考えておりますので、委員の皆様にはぜひ忌憚のない御意見をいただきたいと思っております。	
3 署長挨拶 委員の皆様におかれましては、公私ともに大変お忙しい中、小城警察署協議会に御出席いただき誠にありがとうございます。 管内情勢につきましては、令和6年度中における刑法犯認知件数が前年に比べて大幅に増加しており、闇バイトによる強盗、殺人事件、SNSを通じた特殊詐欺、ロマンス詐欺など、地域の皆様が身近に不安を感じる犯罪が多く発生しております。 また、令和6年中の人身交通事故や物損交通事故の発生件数は前年に比べて若干増加しており、県内における交通死亡事故も前年より増加し、特に高齢者の道路横断中の死亡事故が多くなっています。 今後も小城市、多久市の皆様が安心して過ごしていただけるように管内の治安維持に努めていく所存でありますので、よろしく願いいたします。 本日は、皆様方の忌憚のない御意見をお願いしたいと思います。	
4 協議 (1) 業務推進状況説明 ○ 警務課長 ア 小城警察署管内の警察相談受理状況 イ 体力検定の実施 ウ 職員間のコミュニケーションづくり エ 寒稽古の実施 ○ 生活安全課長 ア 小城警察署管内の犯罪抑止対策推進状況（暫定値） イ ニセ電話詐欺等の情勢（令和6年12月末）（暫定値） ウ 男女間トラブルの現状（令和6年12月末）	

- エ 犯罪のない社会づくり活動
- 地域第一課長
  - ア 地域課の体制
  - イ 主な活動状況
    - ・ 各地区における交番・駐在所連絡協議会
    - ・ 車両検問の実施
    - ・ 初動対応訓練
    - ・ 地域部門における積極的職務執行強化期間における取組
  - ウ 110番通報の概要
- 刑事課長
  - ア 刑法犯の認知件数及び検挙件数（令和6年中）
  - イ 窃盗犯の認知件数及び検挙件数（令和7年1月末）
  - ウ 主な取扱事件
- 交通課長
  - ア 管内の交通事故の発生状況（令和6年中）
  - イ 管内における交通事故発生状況（過去10年）
  - ウ 交通事故分析結果
  - エ 分析結果を踏まえた今後の対策
    - ・ 通勤・通学・帰宅時間帯の事故抑止
    - ・ 「ハンドサインで渡ろう運動」を展開
    - ・ 交通安全協会と連携した反射材の配布活動
    - ・ 交通安全教育の実施
  - オ 交通事故抑止活動
- 警備課長
  - ア テロ対策の推進
    - ・ 宿泊施設対策
    - ・ 爆発物原料対策
    - ・ 重要施設等への警戒
    - ・ インターネット空間上における情報収集
  - イ 外国人技能実習生に対する防犯講話の実施
  - ウ 経済安全保障に関する取組
- 会計課長
  - ア 遺失物・拾得物の取扱状況（令和5～6年中）
  - イ 会計監査受監状況

5 質疑応答

- ① 委員 犯罪の検挙が大幅に増加しているが、何故、このように増加しているのか。
- 警察 逮捕した被疑者から自供を得て事件を検挙することもあり、今回その検挙が多くあった。
- 委員 被害者が被害届を提出しなかったことで認知されていない事件もあるのではないかと。
- 警察 多少はあると思われる。
- ② 委員 高校生等に対して、事故でガードレールやカーブミラー等を壊した場合にどのくらいの費用がかかるか教えているか。
- 警察 交通安全講話は実施しているが、今までそのような話はあまりしてこなかったと思う。
- 委員 これから運転免許を取得する高校生等を対象にそのような教養をすれば、交通事故防止に繋がると思う。
- 警察 4月から5月にかけて交通講話や自転車の乗り方についての講話を実施予定であるため、検討したい。
- ③ 委員 詐欺事件を防ぐための取組はどのようなことをされているのか。
- 警察 以前は、SNSによる被害者の殆どが高齢者であったが、近年は若年層の被害者が増えてきたことから、タクシー会社や携帯電話会社等と連携して詐欺防止の啓発活動を行っている。
- ④ 委員 詐欺被害防止に関する講話をして欲しいときは、どのようにすればいいか。
- 警察 講話の依頼をいただければ対応する。

6 答申

署長から諮問のあった「災害対策の効果的推進方策」について会長から、

- あらゆる広報機会を捉えた情報発信活動の強化
- 受傷事故防止資機材と車高の高い車両の優先的活用

との答申がなされた。

7 閉会